

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- 新年のご挨拶 1
- 理事会報告・広報委員会報告 2
- うちの会社 3
- 会員の動き・会報の合本ができました 4
- 文化厚生委員会報告 5
- 新・パソコン外論考(其43) 6
- 出版文化史逍遙(86) 洋書の歴史雑記帳(XLI) 7

新年明けまして おめでとう ございます



理事長 村田 誠四郎

今年の干支は甲のサルです。「きのえ」とは草木の硬い種子がほころびて、新しい芽が出るという意味だそうです。サルはご存知のとおり進取の気性の激しい動物の「猿」である一方、「申」はニンベンを付ければ「伸」という字になりますように、天に高く伸びるという意味を持っています。ということで、今年は新しい芽が出て、それをぐんぐん伸ばす年であると理解したいと思います。

さて、若干去年を振り返りますと、2002年の景気が少しはもつかと思ったら息切れしてしまい、3月にイラクで戦争が始まり、追い討ちをかけるようにSARSが蔓延、今年はやっぱり暗いなと思っていましたら、日本は力が無いのですが世界が非常に力強く、アメリカおよび中国を中心とするアジアへの輸出に助けられて、日本の景気は少し上向いてきたかと思われまします。ただ、バブルが弾けた後、10兆円、20兆円の景気対策が打たれながら効を奏しなかった訳ですが、昨年は従前と違って大きなリストラをやり、不良資産をどしどし消してきた製造業を中心とする民間企業がそういう景気を創り出してきた点で、今までとは大きく違います。これがそのまま2004年に持ち越してくれることを期待しております。

今年秋にはアメリカ大統領選挙があります。何といっても世界の経済はアメリカが支えていますので、その秋までは大丈夫だろうと思います。一方、中国経済は沿岸部を中心にたいへん大きく成長しています。2008年にはオリンピックが北京でありますし、2010年には万博が上海で開かれるなど、需要がまだまだ続くだろうと期待されています。

そういう今年、景気がこれまでとは若干違う時にこの洋書協会がいろいろな芽を出して、それを皆様と一緒に育てて伸ばしていく、今までとは違う年にできればと思っております。この4月から私どものコア市場であります国立大学が独法化され、自らの責任で大学経営を行う事態となりました。併せてロースクールが68校開校するというように、私たちの市場は大きく変化して参ります。一方、書店に於いては洋書の売上がネット事業の方へシフトする傾向がますます強くなっていく環境にあります。海外ではクルーワー社とスプリングー社が合併するなどの大きな変化の中で、我々洋書業界はこれからどう在るべきなのかが問われます。セミナーなどを通じて会員各社がそのような情報を得、提供し、共有できるように役員の皆様、関係委員会の皆様には一層のご尽力をお願いしたいと思

います。今年が、洋書協会にとって良かった、と思える一年であればと願う次第です。

協会加盟企業の皆様のさらなるご発展と、各社社員

の皆様方のご健勝を祈念して新年のご挨拶といたします。

【2004年新年賀詞交換会 開会ご挨拶】

理事会報告

12月15日（月）

1. 以下の委員会報告を了承した。

(1)ホームページ・ダイレクトリー委員会

- ・コンテンツ拡充の一環として、会員向けに掲載しているニュースの一部を外部にも公開することを考えている。また海外ニュースに関しては会報委員会と連携して相互乗り入れを図る。
- ・HPの維持・管理コスト削減のためサーバー引き上げを検討している。
- ・外国雑誌関連の講演会を企画している。広報委員会と連携して進める。
- ・ダイレクトリー非会員広告企業に新年賀詞交換会への参加を呼びかけ、協会外部との交流の機会を広げたい。

(2)総務委員会

- ・消費税総額表示については会員各社の対応事例を

出来るかぎり収集し、実施方法決定の参考に供する。

(3)文化厚生委員会

- ・懇親会、各同好会の催しなどについては、次回スケジュールを会報に掲載し参加者拡大を図る。

2. 東京国際ブックフェア

- ・専門セミナーで洋販・賀川社長が講演される予定である。

3. 事務局長人事

総務委員会より後任者の推薦があったが結論を出すに至らず、次回持ち越しとした。

4. 2004年度定時総会

- ・旅行会を兼ねて実施する。
- ・開催日：暫定的に5月21日（金）とする。
- ・開催場所：未定

委員会報告 <広報委員会>

日本洋書協会セミナー《Amazon.co.jpの書籍戦略》

**2003年12月3日（水）
ルーテル市ヶ谷センター
受講者約80名（受講料無料）**

一体全体ネット上の世界はどのように展開してゆくのか、マニュアル人間の私には全く想像もつきません。事実、今回アマゾンに講演を依頼できたのもアマゾンのホームページを通して申し込んだのでありまた、会場予約も貸会議室情報ネット（会場ホームページとリンクしており、料金、会場レイアウト、設備等全て見られるのでこれだけでも随分便利になったと思っているのだが）より条件にあったものから一つひとつ潰してゆくつもりでしたが、偶然無料で空会議室を斡旋するホームページを発見し、開催日、人数、料金、設備等の希望を伝えるだけでいとも簡単に予約できた次第

です。10年くらい前まではセミナーを開催するに当り、会場確保等大変苦労した覚えがありますが、今回はデスクに座ってPCに向かったままで全て解決してしまっただけです。2010年～2012年にはユビキタス社会が到来する旨世間では騒いでおりますが、ワード、エクセルの世界に四苦八苦している者にとってはどんな世界になるのか、その実態は全く想像もつきません。

講演の内容は講演というよりむしろアマゾンのプレゼンテーションであったような印象を受けました。

二、三の受講者に印象を聞いてみますと、『受講者は多かったが内容はまいち』、『アマゾンが講演でき

るのはあそこまでだろう』、『インターネット・ビジネスに馴染みのない者にとっては役に立ったかもしれない』、『アマゾンに興味を持ちHPをよく見ている者にとっては全て分っていた事』等々の意見でした。企画者にとっては多数の受講者を迎え無事に終了できたこ



とで安堵致しておりますが、広報委員会メンバーの方々と並び事務局高橋様にはセミナー開催にあたり多大なご尽力をいただき感謝あるのみです。今回の経験を糧に、会員の皆様にご評価いただける企画を立てられればと思っております。 (例)雄松堂書店・鈴木 仁



＜＜協会HP／会員のページ：掲示板及び委員会のページにも掲載中＞＞

うちの会社

株式会社 日本文献出版

千葉県松戸市上矢切 381

Tel : 047-312-2201 Fax : 047-312-2202

創業以来45年に亘り、経営の任にありましたユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社を2001年に辞して2年が経過しました。兼ねて協会へ加盟のお誘いを受けて居りましたが、昨年賛助会員としてお仲間入りを果しました。長年に亘りまして既に知過を得て居る皆様ですが、改めまして入会のご挨拶を申し上げる次第です。

社業の傍ら、私個人のライフ・ワークとして十年来、その刊行を目指して取り組んで参りました、明治政府の公文書、“特命全権大使、米欧回覧実記”全五巻の完全英訳版、“The Iwakura Embassy 1871-73” (ISBN 4-901617-00-1、定価¥115,000)が、業界と決別致しました2001年の春漸く完成に漕ぎつけ、これが幸いにも2002年度の日本翻訳出版文化賞受賞の栄誉に浴しました。

明治の維新後130年余を経て世界に冠たる先進近代国家の創出を果した日本建国のシナリオであった

この岩倉使節団の報告書は、今日迄世界に於ける日本の近代史研究者にとりまして、未知不明の資料でありました。既に欧米の著名な専門学術誌を通してこの英訳版が紹介され、難解を極めた翻訳作業の高い完成度に対しては絶賛を頂いて居ります。願はくば、当該書が世界の関連学者、学究、識者の更なる日本理解の一助となり、改めて日本研究再興のキッカケとなり得ますれば幸いです。

第2、3弾として取り組むべき数点の候補作品を現在検討致して居りますが、何れも重厚長大な企画故、その完成には数年を要する事となります。従いまして私自身、己の健康管理に留意の上、これら出版企画と共生し完成を目指す事を心掛けて日々を過ごす所存です。会員各位の変わらぬご交宜、お願い申し上げます。

尚、協会会員各位の当該書取り扱いを廻るお問い合わせは、直接承らせて頂いて居ります。

齋藤純生

会 員 の 動 き

事務所移転

会員社名：ブラックウェルパブリッシング株式会社

新住所：〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-14

G S 千代田ビル5F

Tel : 03-5215-5590 (Business Development)

03-5215-3051 (Journal Publishing)

Fax: 03-5215-5591 (Business Development)

03-5215-3052 (Journal Publishing)

業務開始日：2004年1月5日

会員社名：カラーフィールド有限会社

新住所：〒151-0072

東京都渋谷区幡ヶ谷 1-20-3

Tel : 03-5790-5511 (代表)

Fax: 03-5790-5515

業務開始日：2004年1月5日

会員社名：株式会社 ピアソン・エデュケーション

新住所：〒167-0051

東京都杉並区荻窪 5-26-13

荻窪 TM ビル6F

Tel : 03-3391-1100 (代表)

Fax: 03-3391-1135 (共通)

業務開始日：2004年2月3日

会員社名：ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

新住所：〒140-0002

東京都品川区東品川 1-32-5

Tel : 03-5479-7251 (代表)

Fax: 03-5479-7307

業務開始日：2004年1月5日

組織変更・事務所移転

会員社名：ケンブリッジ大学出版局

新社名：株式会社 Cambridge University Press Japan

新住所：〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 1-10-1

サクラビル1階

Tel : 03-3295-5875 (ELT)

: 03-3291-4068 (学術書)

Fax: 03-3219-7182

代表者：代表取締役 マーク オニール氏

変更日：2003年12月1日

業務開始日：2004年1月5日

会 報 の 合 本 が で き ま し た

洋書輸入協会・日本洋書協会会報 通巻第301号～400号（1992年6月～2000年9月）の合本ができました。1999年4月より名称が変わりましたが、足掛け9年間の協会活動の推移を記録し、後世に伝える貴重な資料として、是非お手元にお備えください。

合本第4号／版型：B5版

装丁：クロス装

頒布価：5,000円（送料込み）

<<ご注文は別送の「注文書」をお願いいたします。>>

第111回 72会ゴルフコンペ

2003年12月6日(土) 会場：かずさカントリークラブ 曇り後晴れ 参加者：16名(11社)

〔成績表〕

	グロス	ハンデ	ネット	ドラコン	根来恒男	根来恒男
優勝 戎井忍治(丸善)	92	11	81		西山幸児	関口晴生
2位 西山幸児(西山洋書)	88	7	81	ニアピン	根来恒男	西山幸児
3位 宮川 修(丸善)	96	12	84		宮川 修	斎田 利幸
4位 佐藤市郎(川崎航空)	104	18	86			
5位 唐沢広憲(ゲーテ書房)	110	22	88			
ベストアマ 西山幸児	88					

(大洋交易 和田 茂)

40-0 (フォーティ・ラブ) 冬合宿

テニスサークル「フォーティ・ラブ」の冬合宿を12月13日(土)、川口市のグリーンテニスプラザで行いました。前夜からの冷え込みがきつく陽がさしてもなかなか気温が上昇しない中、13人の熱きメンバーが集まり気を吐きました。いつも通り練習・試合をこなし、終了後は鉄板焼き&お好み焼きを囲んで話して花を咲かせました。

さてさて、『エースをねらえ』や『テニスの王子様』などの人気番組が放映され、巷ではかなり盛り上がっている(?)この頃ですが、なんとなく興味が湧いてきたという方も多いのではないのでしょうか?そこで今回はラケットの選び方について簡単にお話ししたいと思います。想像に難くないと思いますが、テニスラケットも例外ではなくかなり進化しています。ストロークやネットプレーなどそれぞれのプレイスタイルに合ったモデルが簡単に手に入りますが、これから始める方はクセのないバランスのとれたものの方がいいでしょう。

男性にはあまり軽くなくラケットの重さで自然に振

りぬけるものが、女性には腕に負担がこないもので、比較的やわらかめのフレームのものがお勧めです。グリップは1,2,3...と大きい数字ほど太くなっています。グリップテープなどでも調節できますが、力が入れやすいものを選んでください。次にガットですがラケットごとに適正テンションが表示されています。初めは低めの設定で張りのパターンも粗めの、ボールがよく弾むものの方がいいと思います。いずれにしても大きなショップには専門の担当者がいると思いますので相談してみてください。デザインなども含めて(けっこう重要!)お気に入りのラケットを手に入れたら、さあ次はコートに出てみましょう!

というわけで次回の新春合宿は3月13(土)・14(日)、箱根で一泊二日を予定しています。13日のみの日帰りもOKですので、ぜひ参加してみてください。時間とか交通手段とか詳細についてはお気軽にお尋ねください。ご連絡お待ちしております。

(東京ブックランド 力石: ricky111c@hotmail.com)

新・パソコン外論考 (其43)

宇田川一彦

◆That old black magic/あなたの仕組んだマジック

■子曰、先進於禮楽、野人也、後進於禮楽、君子也、如用之、則吾從先進、

《The Master said,》“As far as the rites and music are concerned,the disples who were the first to come to me were rustics while those who came to me afterwards were gentlemen. When it comes to putting the rites and music to use,I follow the former.”

(論語／先進篇・Confucius;The Analects／Book XI)

【超拙意訳;〈先生は、言われました。〉「先進、すなわち先輩たちの礼と楽に関して、これを享受する態度には、野人のような素朴さがあったね。かたや後進(より後輩)は、礼楽の享受については君子、まあスマートで紳士的だね。で、どちらを選べといわれれば、私は、先進のそれだね」】

【外注：先進篇の最初の章。徂徠の解釈からヒントを得た清の劉宝楠の読みや解釈は、少し違います。】

★Personal ComputerとSoftwareについてー7ー

◆ワードプロセッサについて

OpenOffice (統合ソフト・以下OpOfと略記。<http://www.openoffice.org>) 続々です。このOpOfとキーボード・ユーティリティーを咬ませ、既述しましたように日本語入力方法 (Input Method:以下略記IM)には、VJE-deltaを使用しています。

このOpOfのwriter (ワードプロセッサ部分)で、筆者の気に入っているところは、文書作成での文字コードの混在とルビ付けの自由さです。本原稿の冒頭で論語を引用する際に、旧字体は新字体に、分かる範囲で変換をしています。が、どうしても論語のオリジナルの字体では、パソコン画面に表示できない漢字があります (現在の標準内蔵の第1・2水準の漢字フォントでは)。その時には、まずは座右 (左利きなので左側ですが) のコード本「漢字コードブック」(日本経済新聞社刊・JIS第1水準2,965字・2水準3,990字+補助漢字5,801字が区点、シフトJIS、ユニコードで引けます。ただ検索のしかたがユニークな方式で戸惑いますが)で、ひきます。

たとえば、本稿の其38に出てきた「零 (あまご

い／クウ、キョ、ク)」は、ユニコード96E9にしかありません。そこで、この1字のために、IMを通常使用の漢字コードをシフトJISからユニコードに切替え、入力します (入力後は、すぐにシフトJISに戻します。この方が、mailなどのやり取りの際、相手もこの漢字コード体系を使用している可能性大ゆえに文字化けをこしにくいので、推奨)。原稿が完成したら、「保存」に入ります (Alt+F+S)。まず、このOpOfのオリジナル文書で、extension (ファイル名の後ろに付くピリオド以下の3文字) にsxwをつけて保存します。ついで、名前を付けて保存 (Alt+F+A)。この保存方法は、オリジナルのsxw以下、14通りのあります。この中から、テキスト (extensionには、txtがつきます) を選びます。ただし、上述しました「零」の字は、sxw以外の保存では、たぶん空白か? 記号に化けているはずです。ここから、協会へ通信で原稿送付の手順は、次号でと思っています。

ほかに、選択できるものには、Wordと限りなく完全に近い互換性を持つ形で保存できるスタイルもあります (何せ、ワードスタイルだけでも、Word97-2000-XP、Word95、Word6.0) の3種類があります (筆者は未使用)。StarWriter用とか、リッチテキスト、エンコードされたテキスト (encode、専門用語では符号化ですが、helpを読むが理解不能) 等の多種多様の保存方法があります。「ルビ」の項は、次号で…。

★Internetについて (博物館海外編-New York 12-)

Lower Manhattanから自由の女神、ウォール街、ニューヨーク証券取引所 (<http://www.nyse.com>)、トリニティ教会 (<http://www.trinitywallstreet.org/>)、連邦準備銀行 (<http://www.newyorkfed.org>)、ウールワース (Woolworth) ビルなどを見学。かつての税関、今の国立アメリカン・インディアン博物館 (The National Museum of American Indian =<http://www.si.nmaiedu>) に入館しました。入場料はドネーション (donation=寄付) でなく、無料でした。収集品100万点。大きなトーテムポールに感動。

余韻覚めやらぬうちに、地下鉄で、86丁目まで (メトロポリタン美術館行きのときの利用駅) 行き、小振りながらドイツ・オーストリア美術の特徴のある収蔵館、ノイエ・ギャラリー (NeueGalerie =<http://www.neuegalerie.org>) に10ドルを支払い入館しました。 (この項続く、乞ご期待)

洋書の歴史雑記帳〔XLI〕ドイツ学術受容の歴史(4) 鈴木 陽二

◆ドイツとの出会い (1)

ドイツ人の来日はオランダ商館の平戸時代からあったが、それは後述するとして、日本の文献に始めてドイツが載ったのは西川如見の『華夷通商考』だった。西川如見は1648(慶安元年)に長崎で生まれた天文暦算家、地理学者だった。彼の主著『華夷通商考』(上下2冊)は1695(元禄8年)に刊行された日本で最初の世界地誌だった。内容は長崎に舶載される貿易品の産地を地誌風に記述したものだが、誤りも多かった。1708(宝永5年)に改定増補版『増補華夷通商考』(5巻5冊)を刊行した。初版は大通辞林道米の秘書『異国風土記』を種本として、如見はそれをほとんど手を入れることなく書き写して出版したものと考証されているが、増補版は如見が自ら改訂したものだという。原著者の道米は恐らくオランダ人などから各国の地誌上の知識を得たものだろうと考えられている。

ドイツについて『異国風土記』にも同じように書かれていたと思われるが、とにかく『増補華夷通商考』によると、「ドイツラント トイキ國トモ云」との見出しで「日本ヨリ海上一萬三千百四十里、国主在テ仕置ス、四季アリ、寒國也、人物ヲランダニ同ジ」とあり、続けて11種ほどの物産をリストしている。ごく簡単な記述ではあるが、これが刊本としての日本における初めてのドイツ國の紹介である。本書は鎖国下において海外知識を得るため極めて重要な文献となったが、しかし、少なくともドイツに関しては、当時関心を引くことはなかったと言う。

長崎は町を包むように立山と風頭山が巡って、その山麓に寺町が開けた。中島川に架かる国宝の眼鏡橋を渡って風頭山へ向かうと、唐人たちが開創し、一時隠元が住持になった崇福寺や興福寺、また長崎三大寺院のひとつ皓台寺など、いくつもの寺が続いている寺町通に突き当たる。それらの寺々には歴史に名を残した著名な人物の墓や史跡が残っているが、その皓台寺の隣の長照寺には西川如見の墓がある。如見は江戸に呼ばれて将軍吉宗から天文に関する下問を受けたこともあったが、一生をほとんど長崎で過ごしながらかつて先駆的蘭学者として全国に名を馳せた。

如見は上述のように、江戸中期の天文学者・地理学者として知られたが、談話を筆記させた随想『長崎夜

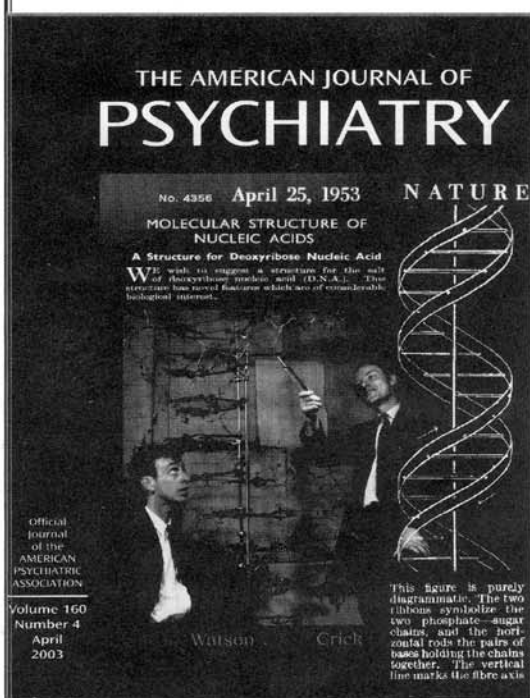
話草』も上梓しており、ジャガタラお春の「じゃがたら文」は、この本で紹介された。「あら日本こひしや、ゆかしや、見たや見たや」と結んだ切々たる望郷の手紙が読む人の涙を誘ったが、文言は如見が潤色したものだと見られている。しかし、お春自身は実在の人物だったと言う。「じゃがたら文」はほかにも「こるねりあ書簡」などいくつか残存している。

横道にそれたが、ドイツが日本で一躍知られるようになったのは、1771(明和8年)の「ハン・ベンゴロウ事件」からだった。ハンガリー生まれのポーランド貴族(自称という説あり)ベニョフスキー(Móric A. Aladár Benyovszky)が航海の途中日本に立ち寄り、ロシアの南下を警告する書簡を提出した事件だった。

18世紀のヨーロッパは、いわば戦乱の世紀だった。1740年頃からポーランドは王権を巡り内紛状態にあった。1762年に即位したロシアのエカテリーナ2世女帝はプロイセンと同盟してその内紛に干渉したが、1768年に旧教徒が決起して4年間ロシアと戦い敗北した。ベニョフスキーはこの旧教徒組織のバル連盟に身を投じて参戦し、捕らわれてカムチャツカに流刑となった。間もなく艦船を奪って南下し、漂流しながら日本に漂着してオランダ商館長宛てに救助を求める書簡を送った。漂着地は土佐の佐喜浜、阿波日和佐、奄美大島の三カ所で、そこでそれぞれ託した書簡が計7通にもなったが、そのうち奄美大島でしたための書簡にロシア南進の情報を具体的に記している。土佐の佐喜浜は室戸岬と甲浦の中ほどに位置する小港で、甲浦は佐賀の乱で政治犯となった江藤新平が、四国の峻険を越えて逃亡の果てに捕らえられた場所として知られている。ともあれ、これらの書簡は各藩から幕府に提出され、幕府は(高地)ドイツ語で書かれていた書簡を長崎奉行を通してオランダ商館にオランダ語への翻訳を命じた。そのオランダ語訳を大通辞今村源右衛門、小通辞名村元次郎の2名がドイツ語原文も参照しながら和訳した。これは日本人がドイツ語に接した初めての事例となったが、異国侵犯の不安もからんで一躍ドイツに対する関心が高まり、認識が深まった。〔参考文献：鮎沢信太郎『鎖国時代日本人の海外知識―世界地理の部―』／宮永孝『日独文化人物交流史』／『ベニョフスキー航海記』(元丸善・本の図書館長)

米国精神医学会雑誌 American Journal of Psychiatry

Editor-in-Chief: Nancy C. Andreasen



米国精神医学会誌である本誌は、精神医学領域の最新トピックを広範囲にカバーし、それらを豊富な図版やイラストとともに簡潔な文章で紹介しています。各号では、その号のハイライトが一目でわかる "In this issue of the American Journal of Psychiatry" をはじめ、特別論文、論説、論文、症例コンファレンス、短報、分野別書評、寄稿などから構成され、ヴァリエティに富んだ役に立つ情報を提供します。

AJP Vol. 161 2004
月刊 施設：¥91,600
個人：¥44,100

APP Journals of Related Interests

The American Journal of Psychiatry
Academic Psychiatry
The American Journal of Geriatric Psychiatry
The Journal of Neuropsychiatry and Clinical
Neurosciences
The Journal of Psychotherapy Practice and Research
Psychiatric Services
Psychosomatics
(消費税別)

Medical
Journal
from...

American Psychiatric Publishing, Inc.
日本総代理店 医学書院



IGAKU-SHOIN

〒113-8719 東京都文京区本郷 3-24-17 ☎(03)3817-5655 FAX (03)3815-7805
E-mail fd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp

日本洋書協会会報 vol.38 No.1(通算440号) 発行日2004年1月25日 編集者 高橋 紘

発行所 日本洋書協会 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4-20 TEL 03-3271-6901 FAX 03-3271-6920

URL: http://www.jaip.gr.jp E-mail: jaip@poppy.ocn.ne.jp